



市長と

車座トーク

第39回 駅家東学区（概要）



開催日時 2017年（平成29年）10月10日（月）

19:30～20:45

開催場所 駅家東公民館

参加者数 10人

次 第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



<車座トークでの主なご意見>

- ・県道中野・駅家線の道路改良工事が3年前から始まっているが、産業団地入り口交差点付近が未整理になっている。近年交通量が増加しており、県と連携して早期に完成させて欲しい。
- ・通過交通の緩和と交通事故防止に向け、県道下御領・新市線の延伸を早期に検討して欲しい。
- ・服部大池は、県の耐震調査では、震度5強の地震で堤防が決壊する恐れがあり、下流域に多大な被害が発生するかもと、住民は非常に不安視している。水位調整が行われているが抜本的な対策にはなっておらず、今後、構造改良を含めて早急に耐震化計画案の作成と実施を進めて欲しい。
- ・駅家東小学校と服部小学校を合併し3年後に新しい学校を作ると聞いている。服部では10回以上説明会をしているが、ここは今年度2回、参加者も2、30人と少なく、合併して新しい学校になることが浸透していない。意識が高まるよう教育委員会から、もう少しアクションを起こしてもらいたい。
- ・学校再編の推進には、PTAを含めた両地域住民の理解が必要で、両校一堂に会する機会があれば理解も深まると思う。PTAも行政と連携し未来を生きる子ども達のために尽力したいと思う。

- ・生活様式の変化や衛生面から学校トイレの洋式化を進めていると思うが、小学校のトイレは古く、洋式トイレの数も少ない。市内ではどの程度洋式化が進んでいるのか。
- ・学校の耐震工事は昨年終了したが、開校41年目で老朽化が目立つ。プールの水が抜け、体育館は外壁が腐食し、床もかなり劣化している。安全に教育活動ができるよう施設の改修をして欲しい。
- ・学校周辺道路は、通勤時の抜け道で、交通量が増加し危険な状況にある。道路への啓発を正門前等2か所に緑のペイントをしてもらいましたが、さらに交通規制など安全な通学路確保が必要。
- ・万片町内会では、春に溝掃除を実施し、市から6台のトラックを手配し2～3回往復している。作業は大変で年々、元気で働ける高齢者が少なくなり、今後泥上げ作業ができなくなると危惧している。泥を事前にバキューム車で取り除くか、構造を根本的に変えて泥がたまらないようにして欲しい。
- ・40年来、加茂川のオーバーフローによる道路冠水はなかったが、昨年7月に万能倉商店街、家電量販店付近が冠水しました。ポンプの力を強くするか、溝を深くする等、根本的な対策をして欲しい。
- ・古墳等、将来引き継いで残さなければならない。観光地では専門のガイドを養成し案内している。学区にもガイドはいるが、人数が限られている。今後、ガイドを養成する場合に補助金を出して欲しい。
- ・北部産業団地第2期の工事はどこまで進んでいるのか。
- ・「福山市は母子家庭の支援がないので、少しは考えてもらいたい。」という意見があった。
- ・敬老の日に市から記念品が届き地域で配布するが、一人暮らしの方が施設に入った場合等、地域では所在が分からず困ることがある。施設から市へ届出してもらい、直接市から記念品を届けて欲しい。
- ・民生委員は負担が大きいのと思われ、長続きせず、次の選挙も難しい。負担を少なくするために、福祉協力員に高齢者の見守りを手伝ってもらっている。福山市には、小地域ネットワークがあるが、いちいち全部報告しなければならない等、手続きが面倒である。
- ・駅家交番の管轄は、駅家、駅家東、駅家西、宜山の4学区で、負担が大きいのではないかと思う。以前は、誰が住んでいるか一軒、一軒回っていたが、今は一切来られない。今後、服部小学校と一緒になるということがあれば、服部駐在所の管轄になればいいかなと思う。
- ・県道下御領・新市線沿いに学区で唯一のスーパーがある。高齢者等は自転車、電動カー、乳母車で買い物に行く。安心・安全のため通行レーンを整備するのが良いが余裕もないと思う。標識が良いか信号が良いのか分からない。福塩線から北は人口が増えているが、インフラができていない。
- ・駅家には中学校の西側に貝塚があり、奈良時代には通信用の駅が出来、馬がいて古代山陽道になった歴史があり、城もあるが駅家や近田駅を降りてどこに行けば良いか、パンフレットや案内標識がない。
- ・学区には老人クラブが4つ有るが、組織率は1割5分程度で、運営が先細りになっている。今後、老人クラブを拡大し、支援の手を伸ばすためにも老人クラブが補強される支援策を講じて欲しい。
- ・中学校区に一つのふれあいプラザを小学校区の一つにして欲しい。
- ・高齢者だけの世帯が多くなり、その人が亡くなると空き家が増えてくる。このような高齢者への対策を市は、今後どのように進めていこうとしているのか教えて欲しい。
- ・法成寺保育所では、3年前まで4時の迎えの後、園庭で遊んで良かったので、子どもたち同士、保護者同士の関わりが持てたが、今は公民館の駐車場を送迎に使っていることから、すぐ帰ることになっている。保護者同士の交流や情報交換の場所がなくなったこともあり、学区内に公園が欲しい。
- ・法成寺保育所とふたば保育所の統合は市の方針で決まっているので、そうした方向で地域としても意見統一、意見集約を図ろうと思っている。
- ・ネウボラは、今年度市の組織ができ、6月には市内十数か所にできた。現在では相談窓口も落ち着い

て良い方向に向かっていると聞いている。尾道、海田でもスタートしたが、子育てとえば“福山”ネウボラとえば“福山”というように、ネウボラというキーで、有名になればと期待している。

<市長のまとめ>

- ・県道中野・駅家線の交差点部分の事業の進捗については、県も早期完成に向けて取組んでおり、3年後には事業が完了する。道路事業は時間がかかるものであり、ご不便をかけるかもしれない。
- ・県道下御領・新市線は、国道486号線に並行して走っている道路が突き当ってT字路で先に抜けない状況になっている。県に確認したところ、486号線が出来、交通処理が円滑にできているということで、更に突き抜けての整備は考えていないようだ。ご意見があったことは県に伝える。
- ・服部大池の耐震調査のランクはCで、危険有の状況。液状化対策と堤防が崩れないようにするための調査をする必要がある。抜本的工事をするには、水を抜けば良いが、水を抜くと農業用の水が欲しい方が困るとして地元了解が得られなかった。水を入れたままで、出来る方法を県と市で検討している。今年度中にやり方をまとめて、地元と協議する状況になっている。
- ・服部小学校との合併についてお二人の意見があり、とても温かい受入れの気持ちを感じられた。しかし、皆が皆、そんな気持ちにはなっていない。これまで服部小学校の保護者や地域の皆さんへの説明に気を取られていたかもしれない。今後、皆さんへの説明を増やしていきたいと思う。
- ・PTA会長さんからご助言がありましたが、両学区の大人たちが一緒に話し合う機会を持ち、そして、どちらかが無くなり、吸収されるのではなく、一つになるという意識を理解いただく取組が必要だと思う。学校での子ども達の日々の活動を見られなくなる地域からみると、地域がどう元気を維持できるかはとても不安になる。しっかりと安心材料を提供しながら一步一步進めていきたいと思う。
- ・できるだけ洋式トイレにしたいという思いで段階を追って整理している。男子生徒数や女子生徒数に応じて幾つ洋式便所が有るかという文部省の適正便器数という基準があり、本市では、小学校で75%、中学校で74%の状況。駅家東小学校については、本年度中に完成する。
- ・体育館の床の痛み、プールの水の漏れ、外壁については、服部小学校と一緒にすることを機に来年度、再来年度のリフレッシュ工事の中で直していきたいと思う。一緒になるので、こういう学校にして欲しいという意見を聞きながら、教育環境、学習環境を良いものにしていきたいと思う。
- ・登下校の安全確保には、幟旗や道路に“横断歩道有”と描く等のやり方が有る。さらに注意喚起の表示を望まれるのであれば、地元の意見を聞きながら安全確保に努めていきたいと思う。
- ・速度規制など交通規制に関する要望が有れば、自治会で整理して警察に出すのが良いと思う。
- ・川の泥さらいは、万が一の災害に備えるため、みんなが協力をしてやっている。大切なことは、高齢者だけに地域を守ることを押し付けず、若い人も高齢者も協力しながら地域を作ることが必要で、福祉を高める会だけの問題ではなく、自治会全体の問題として取組んでもらいたい。
- ・各地域で高齢化が進み、今までの地域と行政の役割分担が上手く機能しなくなりつつある。今後、どういう役割分担が望まれるのか、或いは外部の協力を得ながら課題解決に取り組むのかといった、地域の維持の在り方について議論を始める。
- ・道路の冠水は、一か所だけ水路の流れを良くしても、その先で溢れるということでは意味がない。流末まで上手く水を流しだせるようなやり方を考える必要がある。当面の対策として、水路が詰まっているようなことが有ってはいけないので、これは行政で清掃を考えていきたいと思う。
- ・古墳を守る地域活動については助成策が有るので資料を届ける。ガイド養成の研修や出前講座もある

ので、上手く使うことで、もっと古墳を大切にできる地元の体制が整うと思う。

- ・北産業団地の第2期工事は以前の基本計画を大きく修正しなくても良いという結論になりました。問題は多額の税金を使って、上手く売れるかどうかであり、それを今、シミュレーションしている。
- ・福山市は、子育てにやさしいまちを目指しネウボラという仕組みを作りました。母子家庭への支援も様々あり、各家庭に合ったものを選んでいただくのが良いと思う。このような支援策のあることを十分説明しきれていなかった行政に問題がある。
- ・敬老会の記念品配布は、個人情報を守る意味で施設が神経質になるのは止むを得ないと思う。行き先のわからない高齢者がおられたら、支所に言って欲しい。市から、お渡しするようにする。
- ・市には、福祉協力員という制度はないが、地域独自でやっている一つの工夫だ。確かに、民生委員の負担軽減のために何か考えていかないといけないという問題意識を持っている。
- ・一人暮らし高齢者の見守りなど、民生委員の取組をフォローしたいと思っている。例えば、日本郵便（株）と協定を結ぶことで、よりきめ細かく見守りをすることも今後考えていく。
- ・駐在所の管轄については、警察に伝える。
- ・下御領・新市線の道幅が狭いところで歩道と車道を分離することは現実的には難しい。今の状況で、どういう安全対策を実施できるか地元の方と改めて考えていきたいと思う。
- ・駅家が魅力的な観光地になるためには、地元の皆さんが協力して地域の魅力を磨きあげ、行政と一緒に、やり方を考えていくのが良いと思う。地元有志の方を中心に、市の支援を引き出すため、どういったやり方があるのか勉強し取組んでいただければ、良い観光地になると思う。
- ・老人クラブの維持には大変な苦勞が有ると思う。助成申請等の簡素化については工夫する。これからの地域の維持の在り方の中で、今後の老人クラブの在り方や活動の維持についても一つのテーマとして議論していきたいと思う。
- ・各学区のふれあいプラザとコミュニティセンター、そして公民館を一つの交流館に統合していく。地域の声を聞きながら望ましい交流館を造り地域活動の拠点とする。一方で、空家、空き地が増えてきているが、こういうところをサロンや広場に使用してもらおうという方法がある。
- ・法成寺とふたば保育所が一緒になり特別支援学校跡地に行く。地域で合意した法成寺跡地利用の要望が出てくれば、しっかり議論する。名称についても、地域の意見を聞きながら決めていく。
- ・ネウボラは始まったばかりで、今後も色々改善し充実していく。ネウボラを日本で最初に取入れたのは埼玉県のとくまろ市で、国はこの取組を参考にして今の子育て施策を作っている。何年前か前、私はこの話を耳にし、福山で実施したいと温めてきた。今では、東のとくまろ市、西の福山といわれるようになった。今後も努力を続け、使い勝手の良いものにしていきたいと思う。

<地域からのあいさつ>

市長自らご多忙の中、私たち地域の課題や要望・提言を直接聞いていただき、またわかりやすいお答えもいただきありがとうございました。これからの時代は、超高齢化、少子化、人口減少です。福山市の課題、地域固有の課題もある中で、地域と行政が連携した市政運営を進めていただくようお願いいたします。本日はありがとうございました。